

「企業ドメイン(domain)の戦略論」

序．企業ドメインとは何か

- 松下電器　：　プラグ、ソケット～総合エレクトロニクスメーカー
- キヤノン　：　打倒ライカ～情報、通信機器
- すかいらく　：　(郊外型レストラン)セントラル・キッチン、
- サ　ビス・マニュアル
- 1970年　3店舗　　現在　650店舗
- 「現代は成長の方向性について主体的な展望をもって、意識的・選択的に全社的な事業(製品)構成の定義と組替え」
- 「わが社はいかなる企業であり、いかなる企業になろうとしているのか」
- 「われわれは今、どのような事業を行っており、今後どのような事業を行おうとしているのか」
- CI(コーポレート・アイデンティティーの相違)

企業ドメインの成功例と失敗例

- アメリカの鉄道会社と日本の鉄道会社
 - (セントラル・パシフィック)
 - 鉄道事業に限定 輸送事業
- ハリウッドと日本映画 エンターテインメントフィルム
- 「ドメインを機能させるには、時間とともに変えていく」
- 一つのドメインに固執しない
- 社会に受け入れられるもの

ドメインを構成する三つの次元

- ・空間的広がり(狭 広)
- 物・サービス～機能

- ・時間的広がり(静 動)
- 発展・変化・動態製

- ・意味の広がり(特殊 一般)

- 普遍性の高い価値や倫理性の豊かさ
- 三つの次元のそれぞれのプラスとマイナス
- 広 : 焦点が定まらない
- 変化性 : 安定的、持続性に欠ける
- 一般 : 独自性、固有性の喪失

ゼロックスのOA戦略

- 1970年代半
- 複写機事業の独占的利益
- 複写機工場からの脱却
- 「未来のオフィス(The office of future) オフィス・オートメーション(OA)
- インフォメーション・アーキテクチャー
- 資源の(過)分散 修正
- ドキュメントの作成と印刷ドキュメント・カンパニー

- 「日本電気のC & C」NEC
- 日本公社からの脱却 (通信事業、郵政)
- ・ ベタープロダクト、ベターサービス
- ・ 5 C ・ 4 C

- ・ C & T 、 C & C コンピュータ・アンド・コミュニケーション

- ドメイン・コンセンサス
- 組織メンバーと外部の人々に広く支持される
- 社会的・相互作用のプロセス